

今年の不思議な花粉症

毎年花粉症で苦しんでいらっしゃる方は、今年、なんだか変だとお感じになったのではないのでしょうか。花粉情報によりスギ花粉が多いときにスギ花粉症の方が多いいいことはありませんでした。花粉症状を訴えておいでになる方に、その症状の原因を調べていきますと、主な原因は花粉、黄砂、PM2.5~0.5でした。人によっては、他に食べ物や添加物、放射性セシウム、HD、化学物質等が加わったりもするのですが、多くの方が、この三大アレルゲンによるものでした。

時期にもよりますが、一番強いアレルゲンは、PM2.5 ~0.5 で次いで黄砂、花粉という順です。花粉は大抵の場合この時期には軽いアレルゲンになっています。もちろん中には花粉が最も強いアレルゲンであったり、花粉のみが原因ということもあります。

その花粉症ですが、今年スギ花粉の飛散期にスギ花粉症であった方はいませんでした。スギ花粉症は、昨年8月頃と11月前後にみられました。スギ花粉の飛散時期にみられた花粉症の原因は、イネ科、ブナ科等でした。さらにモクセイ科、4月末の今ではキク科の花粉症が出始めました。どうも木や草の中で次の花粉の準備が始まる時に、人にアレルギー反応を引き起こす何かが出ているようなのです。

実際に物質的なもの(花粉)は無いにもかかわらず症状を起こすのですから、何らかの「気」など、波動のようなものに、人が反応しているのではないかと思うのです。前もって反応することにより、実際に大量の花粉が飛散したときにも、経口免疫療法と同じようにアレルギー症状を抑えることができるようになってきている、と考えざるを得ません。このような傾向は5~6年前から少しずつ出てきていたのですが、ほとんどすべての人に認められるのは、今年が初めてです。このような現象を初めて経験したときは、スギやヒノキの花粉状況を調べに行ったりしましたが、よく判りませんでした。

明らかに何か変化していると思うのですがその正体はわかりません。人の感受性が変化したのか、環境(地球)が変化したのか、その両方なのか、また今後もこの状態が続くのか、不明です。人と地球の進化を画する時期に立ち会っているのかも知れません。そうであれば、今までの認識のありようが通用しないかも知れません。様々な側面から心身の症状や病気をよく観察し、必要とされるものは、何なのかを共に考えていきたいと思ひます。

鈴木 富美